

かねざわ

第75号

2021年（令和3年）2月

- (P-2) 運営委員会からのお知らせ
パネル展出展報告、分科会との連絡会報告
- (P-7) 第7回学習会「曾我物語と吾妻鑑」

目次

運営委員会からの報告

- 2 パネル展出展報告
3 分科会との連絡会報告

学習会

- 7 第7回学習会

分科会からの便り

- 13 「寺社を巡る会」活動記録 会員募集案内
18 「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No31
代表 柴崎 幸治

20 「懐かしの映画を観る会」鑑賞録 No36
代表 鶴岡 重典

26 「浮雲俳句会」抄録 NO51
代表 北野 清市

29 「パソコンを使いこなす会」実施報告(3)

32 歴史研究
「江戸時代の五街道を歩く」(12)
「古文書を読む会」代表 真田 雅行

40 行事予定(3月～5月)



金沢区生涯学習“わ”の会

ホームページ:<http://kanazawa-wanokai.in.cocan.jp/>
メー ル:yokohama.kanazawa.wanokai@gmail.com

パネル展 出展報告

今年はコロナ禍の為、例年開催されるフォーラム KANAZAWA が中止となり、代わりにパネル展のみの開催（出展希望者を1週間ずつ3期に分散）となりました。

“わ”の会は、活動紹介とともに、新入会員の勧誘を目的として出展しました。

開催日時 第3期 2020年11月15日(日)～11月21日(土)

場 所 金沢区役所 2F 区民活動センター 区民ギャラリー

概 要 “わ”の会活動内容紹介・学習会日程表などと、6分科会の活動内容案内のAOサイズ2パネルを展示しました。また入会案内チラシを100枚置き40枚が持ち帰られました。

なお、パネルの出来栄えについては、ゆめかもんの担当者からお褒めの言葉をいただきました。



第16回分科会代表との連絡会 報告

日時 2021年1月9日(土) 10時30分～12時00分

場所 金沢地区センター中会議室

出席者 寺社を巡る会：金久保代表 横山副代表 古文書を読む会：真田代表 松本世話役 ふれあいの道
歩こう会：柴崎代表 懐かしの映画を観る会：鶴岡代表 貝田副代表 浮雲俳句会：北野代表 鈴木
副代表 運営委員：江口 山腰 鶴岡 田野実 橋 斧原(記録)

配付資料「第16回分科会代表との連絡会」次第

1. 江口代表挨拶

- ・今年度はコロナ対応の制約を受ける中で、会の運営にご協力いただき有難うございました。緊急事態宣言が延長されなければ、2月の公開歴史講座は実施できると思いますが、延長なら中止せざるを得なくなります。地区センターなどの利用に関する金沢区の対応は横浜市の方針を受けて1月12日に出されるので、分科会活動もその結果をみなければ何とも言えません。
- ・今年度はパソコンを使いこなす会以外は、前半の休止を余儀なくされました。今日の連絡会は1時間半しかないので簡単に状況報告・連絡をお願いします。

議事

2-1 各分科会の活動に関する事項

1) 今年度活動状況と来年度の活動予定

「寺社を巡る会」(金久保代表)

- ・配布資料に基づき予定・実績等の説明が行われた。
- ・4月は並木地区センターが使用できず、5月8日の総会は書面での活動になった。バス探訪も中止。
- ・今年度から、主に金沢地区に戻って探訪しており、案内を金澤シティガイド協会に依頼している。コロナ対策として、半日探訪に変更し、昼食をやめている。また、当初予定していた小田原方面探訪も、不特定多数との接触と長距離移動のリスクを考慮して中止した。
- ・高齢化により会員が減少しており、新入会員を募集したい。“わ”の会の会報に載せてほしい。

「古文書を読む会」(真田代表)

- ・配布資料に基づき実績・予定等の説明が行われた。
- ・3～5月にかけて、6回休講となった。例年、年間18回実施している
- ・これまで、“わ”の会への実施報告をメンバー持ち回りで作成していたが負担が大きいため、今年度より特定の担当者が簡単に数行箇条書きで報告することにした。

- ・ 今後は、地域にこだわらないで、日本全国を対象に「とっつき易いテーマ」を選ぶこととした。
- ・ 第1学習は、幕末の志士（坂本龍馬）の手紙が面白いので読む。
- ・ 第2学習は、昨年は高田屋嘉兵衛の書いたものを読んだが、今年は島原の乱に関するものを読む。

「ふれあいの道歩こう会」（柴崎代表）

- ・ 配布資料に基づき予定・実績等の説明が行われた。
- ・ 設立当初の活動から時間が過ぎ、「関東ふれあいの道」を歩いた人が少なくなったので原点へ回帰し関東ふれあいの道の神奈川コースを踏破することとした。
- ・ コロナの緊急事態宣言下であるため、1月21日の例会は中止し、計画を2月に延期とする。
- ・ 3月予定の石垣山一夜城は中止し、その分をつめて関東ふれあいの道をメインに実施する。
- ・ 今期についても、安全第一の山歩きを実施したい。

「懐かしの映画を観る会」（鶴岡代表）

- ・ 昨年は3月から6月まで休会、7月から再開したが会場の人数制限が、30名→45名→60名と変化した。毎回40名程度集まるため、一時期は参加者を2分し、交代制で実施した。現在は60名制限のため通常開催しているが、今後は地区センターの方針による。
- ・ 会員の出入りが多く、会員名簿の整備が不十分だったため、メールでの連絡を取りにくい。現在整備を進めており、8割程度まで把握できるようになった。
- ・ 来年度の4～7月は、前年度の積み残しをやり、8月からは新しい映画を鑑賞する。
- ・ 映画選定の目安として、外国映画と日本映画の比率を2：1、懐かしの映画の比率は、1960年代までを半分以上としている。

「浮雲俳句会」（北野代表）

- ・ 今年度は、「日本の城」をお題に俳句に取り組んだ。
- ・ 区民俳句大会はコロナのため中止となり、俳句会の活動も9月から開始した。
- ・ 来年度は、「世界の山岳俳句」に挑戦する予定である。

「パソコンを使いこなす会」（小俣代表）

- ・ Zoomでのオンライン授業を取り入れたので、活動は休まなかった。
- ・ 前代表の林さんは、講師に専念し、代表を辞することとなった。これで、高橋氏、佐藤氏を合わせて講師が3名となった。

2-2 “わ”の会の運営に関する事項

1) “わ”の会運営状況（江口）

- ・ 今年1年、コロナのために総会・学習会・初めての懇親会や例会を中止せざるを得なかった。来年度も会員懇親会はできないかもしれない。従来通りの活動ができる状況がはやく来ることを願う。
- ・ 今年度は横浜市大を会場に利用することで凌いだが経費は増大。
- ・ 次年度も1年分、横浜市大のホールと教室を手配中。

※コロナ禍の時間制限のため途中時間切れで終了となりました。

以下は、未終了の配布資料抜粋です

2)学習会

- 第1回は金間誠一氏。5月は会員による自主講演が13年連続(含む昨年中止)
- 探訪：横浜検疫所と長浜ホール(仮) NPO 法人野口英世よこはま顕彰会と共同
※2021年5月第1回学習会と連携
- 公開歴史講座：戦国江戸湾の海賊 真鍋 淳哉氏 (青山学院大学 非常勤講師)

3)会報について

- 例年は年4回発行していましたが、昨年は、コロナの影響で行事自体の中止が相次ぎ、会報も3回(第72号～第74号)の発行にとどまりました。
- 学習会、分科会からの便り及び歴史研究・紀行については、安定的に継続して掲載されました。
- 2021年の実施予定(例年通り年4回の定期発行を予定)

会報第75号：2021年 2月 13日発行予定

// 第76号：2021年 5月 8日 //

// 第77号：2021年 8月 20日 //

// 第78号：2021年 11月13日 //

※各分科会への要望事項

- 2021年度も昨年に引き続き「各分科会からの便り」の作成をお願いします。
- 各分科会の会報編集委員の欠員等が生じた場合には、速やかに選出をお願いします。

4)ホームページ・“わ”の会通信

《ホームページ》

- ホームページ…2004.10.23に開設、満16年を経過
- 学習会および各分科会の「年間計画と実績」と「次回の集まり」の日時・会場などの掲載
- 各分科会の実施報告・実施記録の掲載
- 会報、“わ”の会通信のバックナンバーを掲載
- 会員の寄稿(写真集)会員の動静を掲載
- 新規情報掲載を通知する「トピックス」の掲載(100件以上)
- アクセス数

創設以来のアクセス数：79,098回(創設以来の平均：409回/月)

2020年度のアクセス数：6,131回(2020年度の平均：515回/月)

《“わ”の会通信》

- “わ”の会通信…2005.3.9に創刊、まもなく満16年
- 学習会の案内(約1ヶ月前に通知)
- 会員にとって有用と思われる催し物・イベントなどの情報通知
- 発行数 創刊以来の発行数：365号(創刊以来の平均：1.92号/月)
2020年度の発行数：11号(2020年度の平均：0.91号/月)

※お願い事項

下記について、改善のご提案を頂きたい。

- 会員の寄稿、レポート、会員の動静ページの活発化にご協力をお願いします。
- 各分科会内の連絡手段として、HPを積極的に活用されるよう周知してください。

5) フォーラム KANAZAWA について

(ゆめかもん活動紹介パネル展出展報告)

- 今年はコロナ禍の為、例年開催されるフォーラム KANAZAWA が中止となり、代わりにパネル展のみ 11/15～11/21 区民ギャラリーでの開催となりました。
“わ”の会は、活動紹介とともに、新入会員の勧誘を目的として出展しました。
- “わ”の会活動内容紹介・学習会日程表などと、6分科会の活動内容案内の A0 サイズ 2 パネルを展示しました。
- 入会案内チラシを 100 枚置き 40 枚持ち帰られました。
- パネルの出来栄えについては、ゆめかもん担当者などに褒められ大変好評でした。

以上

第7回学習会 『曾我物語と吾妻鑑』

会報編集委員 佐藤和広

開催日：2020年11月14日（土）

9：00～11：30

会場：横浜市立大学カメリアホール

講師：大妻女子大学文学部教授 小井土守敏氏



概要

建久4年5月28日（1193年）、曾我十郎祐成（すけなり）と五郎時致（ときむね）の兄弟が、源頼朝が行った富士の巻狩りの際に父親の仇である工藤左衛門尉祐経（すけつね）を討った事件。この事件をその発端から、仇討への執心と挫折、成功とその後日譚まで描いたのが「曾我物語」です。10巻または12巻からなる準軍記物語。

曾我兄弟の仇討ちは赤穂浪士の討ち入りと伊賀越えの仇討ちに並ぶ日本三大仇討ちの一つであり、武士社会において仇討ちの模範とされました。

始めに

現存する曾我物語諸本は真名本・真名本訓読本・仮名本の三系統に分類されます。

真名本は和製漢文で表記された古態を残し、仏教説話や唱導的の字句を織りまぜながら事件の全体像を記しました。

真名本訓読本は真名本を漢字仮名交じり文に読み下し、物語に關与しない説話や唱導的の字句を省きました。

仮名本は雑多な説話を取り込み、後世に最も広く流布した本文になります。最終的形態とされる仮名本も南北朝期にはほぼ完成されていたようです。

そもそもの発端

伊東祐親と工藤祐経の間の因縁が起点となります。伊東祐親（すけちか）・・・伊豆国伊東の豪族。東国における親平家方豪族として平清盛からの信頼を受け、平治の乱に敗れて伊豆に配流された源頼

朝の監視を任されます。しかし祐親が大番役で上洛している間に、娘の八重姫が頼朝と通じ千鶴丸を儲けてしまう。祐親はこれを知って激怒し平家の怒りを恐れ千鶴丸を松川に沈めて殺害、さらに頼朝自身の殺害を図ります。頼朝は夜間馬に乗って熱海の伊豆山神社に逃げ込み、北条時政の館に匿われて事なきを得ました。頼朝が打倒平氏の兵を挙げると大庭景親らと協力して石橋山の戦いでこれを撃破します。しかし頼朝が勢力を盛り返して坂東を制圧すると、逆に追われる身となり富士川の戦いの後捕らえられます。娘婿の三浦義澄による助命嘆願が功を奏し一時は一命を赦されましたが、祐親はこれを潔しとせず「以前の行いを恥じる」と言い自害して果てました。勇猛果敢な武将として知られ、「伊東祐親まつり」が毎年行われるなど地元では英雄視されています。

工藤祐経・・・工藤祐経の子として生まれました。元

服の後、祐経は祐親の娘・万劫御前を娶り祐親に伴われて上洛し平重盛に仕えます。歌舞音曲に通じており、「工藤一臈（舞楽で、舞人の前列に立つ第一の人）」と呼ばれました。一ノ谷の戦いで捕虜となり鎌倉へ護送された平重衡を慰める宴席に呼ばれ、鼓を打って今様を歌いました。後に静御前が鶴岡八幡宮社前で白拍子の舞を命じられた際には鼓をうちました。頼朝の征夷大将軍就任の辞令をもたらしした勅使に引き出物の馬を渡す名誉な役を担いました。祐経は武功を立てた記録はなく、都に仕えた経験と能力によって頼朝に重用されました。そもそもこの2人は元を辿ると同じ伊東氏の一族であり、因縁の遠因となるのが工藤祐隆（すけたか）です。工藤祐隆とは、藤原南家の流れをくみ伊豆国久須美荘を所有。伊東氏の祖であり狩野氏、河津氏などを派生しました。また一族の工藤行政は鎌倉幕府に仕えた際、鎌倉二階堂に屋敷を構えたのを機に「二階堂」を称し、その子孫は二階堂氏となりました。この祐隆には息子がいましたが夭折してしまい、密かに通った継娘との間に儲けた工藤祐継を嫡子として伊東・宇佐美を譲ります。早世した嫡子の子（嫡孫）祐親を次男として河津を譲りました。然し祐親はこれを不服とし箱根の別当に祐継を祈り殺させ、祐継の子祐経が在京している間に祐親は祐経が継いだ伊東荘を押領してしまい、妻の万劫御前まで勝手に離縁させて相模の土肥実平の嫡男遠平と再婚させました。押領に気付いた祐経は都で訴訟を繰り返しますが、祐親の贈賄により思うような裁決が得られず、ここに至って所領と妻を奪われた祐経は祐親を深く恨み祐親の暗殺を図ります。1176年に祐親が近辺の武士たちを招いて行った伊豆地方の原野での巻狩の機に乗じて討つ事を企みます。巻狩が終わり帰路の途中で祐親と嫡子・河津祐泰（すけやす、祐泰は伊東氏の領地のうち河津荘をあてがわれていたために河津姓を名乗っています）を祐経の郎党に命じて待ち伏せさせます。2人の刺客が放った矢は祐親ではなく祐泰に当たり祐泰が死にます。刺客2人は暗殺実行後すぐに伊東方の追討により殺されますが、首謀者たる祐経は事なきを得ます。祐経の弟の宇佐美祐茂が頼朝の拳兵当初から従い、富士川の戦

いの戦功で本領を安堵されていました。祐経は京から鎌倉へ下って頼朝に臣従し頼朝の寵臣となり、祐茂を通して伊東父子亡き後の伊東荘を取り戻します。祐経の子・祐時は伊東を名乗り伊東氏を継承します。祐時の子孫は日向国へ下向して戦国大名の日向伊東氏・飢肥藩藩主となります。

曾我兄弟の幼年時代

あとには祐泰の妻と子の一萬丸（祐成）と箱王丸（時致）の兄弟が残されました。

兄弟は父が伊東祐親の嫡男である河津祐泰、母は土肥実平の娘である満江御前。

夫の祐泰が工藤祐経に殺されて後家となると、満江御前は舅の伊東祐親に勧められて祐親の甥にあたる曾我祐信と再婚します。ここより曾我兄弟となります。

何故兄が十郎で弟が五郎なのか・・・兄弟の母は曾我祐信の後妻になり兄弟は曾我の養子になります。母は兄弟に仇討などさせたくなかったので出家させようとするが、兄の一萬はこれに反発して勝手に元服します。このとき実父はいなかったため、存命だった祖父（伊東祐親）の十番目の子、という意味で十郎祐成と名乗りました。弟の箱王丸は当時箱根権現（今の箱根神社）に父の菩提を弔うように稚児として預けられていました。源頼朝が参拝した折には箱王丸は随参した敵の工藤祐経を見つけ復讐しようと付け狙いますが、仇を討つどころか逆に祐経に諭されて「赤木柄の短刀」を受けられます。十郎は養父が頼りないからと弟を出奔させて北条時政（前妻が祐親の娘）を頼ります。弟は時政を烏帽子親に元服、「小四郎義時」の次ということで五郎時致の名を与えられました。諱も伊東・工藤の「祐」ではなく北条の「時」になりました。時政は曾我兄弟の最大の後援者となります。

仇討決行

曾我兄弟の仇討ちが行われた建久4年5月、源頼朝が富士山の裾野で盛大な巻狩りを催していました。巻狩りの最終日に兄弟は仇の工藤祐経の寝所に押し入ります。兄弟は酒を飲んで遊女と寝ていた祐経を起こして討ち果たします。その時五郎時致が止めを刺すのに使ったのが以前祐経から譲

られた「赤木柄の短刀」。その後は騒ぎが起こり集ってきた御家人に兄弟は取り囲まれ兄の祐成は新田四郎忠常に討たれます。弟の時致は頼朝の館に押し入ったところを、女装した小舎人の五郎丸によって女物の着物に絡め取られるようにして捕われました。翌5月29日、五郎は頼朝の面前で仇討ちに至るまでのいきさつや心情を述べたところ、兄弟の父への孝心から一時は助命を考えた頼朝でしたが、祐経の遺児・犬坊丸の手前斬首する事が決まりました。

吾妻鑑

富士の巻狩りの際に起きたこの事件について公式に書かれた文書は『吾妻鑑』以外にありません。

「吾妻鑑」は治承4年(1180年)から文永3年(1266年)までの87年間の鎌倉幕府の前半を扱った歴史書。「古事記」や「日本書紀」以下の六国史が朝廷中心の歴史書だったのに対して、幕府の歴代将軍を軸に東国の武家社会の歴史を詳細に叙述しているのが最大の特色。その記述は治承4年(1180年)4月、以仁王の令旨が伊豆の

閑談

頂いた資料の比較ですが、曾我兄弟が仇の祐経を討った後、御家人に囲まれ次々と斬り結ぶ

「十番切り」の場面の比較が興味深い。「吾妻鑑の本文編」では斬った相手の名前を10名列記しただけですが、「真名本曾我物語の本文編」では相手は12名になり、相手の出身地、闘いの状況が記さ

北条館に届くところから始まり、記事は各将軍源頼朝、頼家、実朝、藤原頼経(よみつね、鎌倉幕府4代将軍。源頼朝の遠縁にあたり2歳で鎌倉に迎えられ、執権の北条氏に疎まれ、1244年子藤原頼嗣へ将軍職を譲渡して出家。源頼家の娘竹御所を妻とする)、頼嗣(よみつぐ、鎌倉幕府の第5代将軍。父頼経から6歳にして鎌倉へ送られた藤原(摂家)将軍。のちに執権北条時頼に廃され京都へ追放)、宗尊親王(むねたかしのう、後嵯峨天皇皇子。初めての親王将軍として鎌倉に下向。1266年幕府への謀反の疑いで将軍職を追われ帰京)の6代に分けられ、各将軍1代の前に当時の天皇や上皇・摂政・関白の略歴を載せ、月日を追って将軍在任中の治績を記録しています。主な内容は治承・寿永の乱と平氏政権の滅亡、鎌倉幕府の成立、承久の乱、執権政治の始まり、寛元4年(1246年)の宮騒動と翌年の宝治合戦、得宗支配の確立などです。本書の写本のうち、最も有名な「北条本」の目録はほぼ南北朝時代に金沢文庫で作られました。

れます。「仮名本曾我物語の本文編」になると、闘いの状況が一層細かに記されます。そして倒した相手の人数が50余人を斬り、手負いさせた相手はなんと380余人だそうです。時代が下るにつれて物語に尾ひれが付くのは致し方ないとはいえ、これはいかにも盛りすぎでは。



2020年度第7回学習会アンケート集計

“わ”の会運営委員会(2020.11.14 晴れ)

『曾我物語と吾妻鏡』 講師：小井土 守敏氏

出席者		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	計	アンケート(提出率%)
	男	50	7	57(63.3)	3	60	
	女	17	0	17(81.0)	0	17	
計		67	7	74(66.6)	3	77	33(47.1) 33/70

①講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった	チェック無し
12名	16名	4名	0名	1名

- ・曾我物語の真名本、真名本訓読本、仮名本の違いが良く分った。
- ・真名本、仮名本についての話が良かった。
- ・現存する本に三系統あるというので興味深かった。
- ・真名本、真名本訓読本、仮名本の違いが理解できた。
- ・真名本と仮名本では内容が異なる部分が多い理由がわかって参考になった。
- ・時代を追っての 1つの物語の本について真名本、真名本訓読本、仮名本の違いを詳しく教えていただきました。
- ・「曾我物語」の諸本についてのお話が面白かったです(私も日本文学専攻でしたので、平家物語ですが)
- ・なつかしい物語である。
- ・特に資料が豊富で、後での学習に役立つ。単体に曾我物語の内容も聞きたい。
- ・話が面白かった。
- ・曾我物語についての解説が多く、筋についてももっと話してもらいたかった。敵討ちであるということであるのはわかるが、筋の展開については知らぬのでもう少し話してほしかった。
- ・箱根の曾我兄弟の碑、戦争中の集団疎開(小学校当時)での学びが思い出されます。
- ・背景というか、裏面の話をまじえて大変理解の参考となった。
- ・自説を的確に説明いただいた。
- ・前半の曾我物語 成立の背景が特に面白かった。大学生相手の講義をしているのでたとえ話が上手で分かりやすい。
- ・楽しく易しく聞けた。
- ・貴重な資料、とても勉強になります。講演の中で資料群を読んだり、かんじんの曾我物語や武将達の関り鎌倉幕府等についてももう少し詳しく聞きたかったです。少し残念。
- ・「曾我物語」鎮魂の物語であるなど、単純な仇討ではないと改めて理解。事典などにあった「軍記物」の分類に疑問。
- ・表記の視点から語る「曾我物語」の性格の違いはとても新鮮で又、後世芸能など幅広く影響を及ぼしたことが良く分り、大変面白かったです。目からうろこでした、有難うございました。

- ・2本の内容に加えてその背景から現代までの影響なども紹介いただきおもしろかった。
- ・難解でした。
- ・70年前に母に読んでもらった物語、60年前の自分で読んだ本をなつかしく思い出した。
- ・吾妻鏡は私のライフワークとして長年読んできましたが、同時代の史評として曾我物語は吾妻鏡の記述を検証するうえでも重要なものです。物語では工藤佑経は悪人とされますが、もともとは伊東祐親の行為が原因となっていることが解ります。今日は勉強になりました。
- ・物語の講釈とっていたが、違っていたのでちょっと残念でした。後半になって教授の言われたい事がわかってきました。
- ・真名本、仮名本がありその内容の違いなど全く知らないことであった。吾妻鏡についてもう少し詳しく話して欲しかった。資料各種を揃え、力を注いでくれたことがわかる。
- ・詳細に渡る各種資料の労、多謝。

②小井土講師に希望する講演テーマについて

- ・講師の研究されている今回の内容と関連したものなど興味がふくらみます。
- ・流布本/保元・平治物語
- ・刊行準備中の[流布本 曾我物語](仮題)
- ・吾妻鏡
- ・ぜひ「永久記」をお願いします!!「平家物語」でもOKです。
- ・伊藤祐親の子佑清について詳しく教えて欲しい。

③学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
16名	15名	0名	0名

※チェック無し：2名

- ・コロナ禍の影響で会場確保に苦労していることと思います。今回の会場横浜市立大学カメラアホールは適した会場です。
- ・貴重な資料、うれしく、特に資料③読む楽しみが ありがとうございます。
- ・カメラアホールは話が聞きやすい。
- ・コロナの運営には苦労されたと思います。
- ・感染防止の対策など、運営でのご配慮お疲れ様でした。有難うございました。
- ・コロナ禍のもと、隅々までの気配りお疲れ様です。
- ・コロナ禍の中で運営の御苦労に対して深く感謝致します。
- ・COVIT19の対応運営は大変なことでしょう。ご苦労様です。
- ・大量の資料作成ご苦労様でした。

④ “わ”の会について

- ・今回の講座、初めての視点での学習、担当の方々の選択企画、感謝します。

- いつもありがとうございます。
- 「曾我物語」鎮魂の物語であるなど、単純な仇討ではないと改めて理解。事典などにあった「軍記物」の分類に疑問。
- 金沢を軸足とする当会としては、この講演の中に、金沢との関係をぜひ示してほしかった。
→運営委員会で今後も「金沢との関係」をぜひ、講師各位に求めていただきたい。
- 歴史の好きな方には、ちょっと理解しにくかったかも？「どこが美談か？」は先生のおっしゃられたことが全ての答えだと思います。

運営委員代表の意見・感想

- コロナ禍が落ち着かない中、他のイベントと開催が重なり出席人数が心配でした。
結果、会員 74 名ビジター 3 名の合計 77 名と予想以上の出席であった。
- 講師の方は、昨年に続いてのお願いしていましたが平藤氏が講演を出来なくなり、急遽平藤氏よりご紹介いただきました小井土氏にお願いしました。テーマについても平藤氏が予定されていた『平家物語と吾妻鏡』に対応して『曾我物語と吾妻鏡』ということになりました。
- 講演については、前半は曾我物語には「真名本」「真名本訓読本」「仮名本」の三系統がありその違いについて詳しく説明されました。後半は、真名本、仮名本、吾妻鏡の事例を挙げ説明していただき真名本、仮名本の違いが判りました。

多くの資料を作成していただき後日の読むこともできる配慮いただき感謝です。また、真名本他多くの本を持参いただき、投影され臨場感あふれる説明でした。
- 曾我物語については、詳細については兄弟の仇討と漠然としかしりませんでしたのが、この機会、少しは内容が把握できて来たかと思います。箱根での顛末については、面白く聞くことが出来ました。
- また、質問もありましたように、曾我兄弟の仇討が美談とと思っていましたが、実は事の起こりはおじいさんの財産を狙ったことが発端で何が美談かよくわからないことが解りました。

最後に、来年も曾我物語に関しての講演をお願いしますので、さらに曾我物語りの詳しい内容や逸話を期待したいと思います。

『寺社を巡る会』活動記録 令和2年度第7回～第9回

第7回 中世から鎌倉へ続く塩の道を歩く

開催日：令和2年11月5日（木）

参加人数：男性 21名（内ビジター2名） 女性 9名 合計 30名

コース：京急金沢八景駅（集合）～金龍禅院～泥牛庵～米倉陣屋跡～上行寺東遺跡～上行寺～千葉氏の墓と嶺松寺跡～伝小山若丸二児の墓～千光寺跡～六浦白梅公園（解散）

探訪再開2回目晩秋・快晴の日、金沢八景駅
16号線を渡り最初の訪問先金龍禅院に到着。
先ず九覧亭に、急な坂を上り、展望台から工場・
住宅が立ち並ぶのを見ると往時野島・烏帽子岩・夏
島が点在する絶景があったとは想像できない。坂を
下り飛石を見て金龍禅院を後にする。



金龍禅院・山頂からの景観

泥牛庵は鎌倉末期の創建と伝えられる。米倉家が
陣屋を築いたときこの地に移され現在に至ってい
る。国道の拡幅により境内が狭くなった。

米倉陣屋跡は明治4(1871)年まで陣屋として存
在したが現在は住宅地となり陣屋が存在した形跡
は見当たらない。明治年代の米倉家当主の墓が片隅
に存在する。米倉陣屋を築くため泥牛庵他2ヶ寺が
移設または廃寺となっている。

上行寺東遺跡は鎌倉時代の遺跡と確認されたが
マンション建設のため遺跡は破壊され、現在はやぐ
らの一部と遺跡レプリカが残るのみである。この高
台からの展望は現在住宅地であるが、鎌倉時代は六
浦湊と塩場が見渡せたのであろう。塩場の地名は残
されている。

上行寺は船中間答など多くの逸話がある日蓮宗
のお寺。境内には逸話にある樹齢700年と伝えら
れる榎の木、鎌倉との往来など使役に使われた動物
に対しての牛馬六畜の供養塔がある。



上行寺東遺跡 復元模型

千葉氏の墓と嶺松寺跡へ、坂道を上った擁壁のす
ぐ前にたくさんの墓石が現れた。なかで大きいのが
千葉氏のものだという。嶺松寺は明治初年に廃寺と
なり、墓石も荒れたままであったが擁壁工事に伴い
並べ替えられたものである。千葉氏は明治維新まで
瀬戸神社の神主であり、嶺松寺は千葉氏の娘が建立
した記録がある。

伝小山若丸二児の墓は急な坂道を上り擁壁上
のそばにあり、乳母の墓と伝えられるものと三基並
べられている。元あったところは傾斜地崩壊工事に
より削られ、現在地に移された。

千光寺跡は千光寺が朝比奈へ移転に伴いできた
跡である。小栗判官・照手姫伝説の照手姫の守り本
尊と伝えられている十一面千手観音が本尊である。
境内には「金澤猫」にちなむ猫塚がある。

侍従川の由来聞きながら最終目的地六浦白梅公
園に到着、解散した。

本日は鎌倉時代、塩の生産地付近の探訪であった。
金沢の地で生産された塩を鎌倉への輸送路である
と同時に多くの文物が行き交った塩の道、失われた
ものがあるにせよ多くの文化財が伝えられ残され
ている。塩の道が大きな役割を果たしたことを再認
識できた。金沢の地形上仕方がないが途中急な坂・
階段があり目的地に行けない人が出たのは残念で
あった。
(杉山茂 記)

第8回 釜利谷史跡- I 白山道を歩く

開催日：令和2年12月3日（木）

参加人員：男性 20名 女性 8名 計 28名

コース：京急金沢文庫駅西口（集合）～手子神社～禅林寺～釜利谷小川アメニティー～自性院
～畠山六郎重保公廟所～東光禅寺～白山権現社（解散）

白山道は鎌倉と釜利谷を結ぶ道の一つで、朝比奈切通し開削前からの古道。昔は「しらやまどう」、今は「はくさんどう」と呼ばれる。いつ開かれ、いつ頃から、そう呼ばれたかは定かではない。本日は手子神社から東光禅寺を経て白山権現社までの探訪である。

金沢文庫駅西口に集合し、宮川沿いに歩いて釜利谷の総鎮守手子神社に着く。釜利谷の領主伊丹左京亮が、文明5年（1473）瀬戸神社の分霊を宮ヶ谷に祀ったのが起源。祭神は大山祇命（オヤマミコト）。延宝7年（1679）伊丹左京亮の末裔・江戸浅草寺の智楽院忠運が現在地に再建した。



手子神社

次は釜利谷小学校の前を通り曹洞宗の禅林寺へ。本尊は薬師瑠璃光如来。足利持氏が創建しその息子足利成氏の要請で、明応2年

（1493）に下総東昌寺二世能山聚藝禅師が開山したと伝えられる。その後、荒廃していたが、伊丹三河守永親が再興した。伊丹氏一族との関係で安永9年（1780）に東照大権現（徳川家康）の御神影が下賜された。毎年家康の命日の4月17日に一般公開されている。

釜利谷町小川アメニティーの自然を生かした散策路を通り抜けて、自性院へ到着。真言宗御室派、本尊は聖観世音菩薩。寺伝によると伊丹

三河守が二人の子供の菩提を弔うため、永正年間（1504～20）に創建したとのこと。寛永11年（1634）、幕府御用の菓子商大久保主水忠行の夫人蓮臺院日宝尼が建てたといわれる宇賀山王社が本堂右側の山際に祀られている。



自性院

白山道バス停近くに六郎橋がある。畠山重忠の子の六郎重保に因んで付けられたと伝わる。宮川右支流は暗渠になったが、六郎橋の一部は残されている。そのまま白山道を進むと六郎ヶ谷公園の奥に畠山六郎重保公廟所が見えてくる。柵に囲まれた広い敷地の奥にぼつんと五輪塔がある。入口に横浜市地域史跡の看板があり、この辺りの山中で自害したとの記述がある。吾妻鏡の由比ガ浜にて死亡との関係は如何にと疑問が湧く。

釜利谷地域ケアプラザを超えて進み、臨済宗建長寺派の東光禅寺に到着。探訪再開後初めて本堂に上がる。まず天井の大龍画が目に入る。仰向けに寝て鑑賞する仲間もいた。本尊の畠山重忠の持仏と伝わる薬師如来を拜む。建仁年間（1201～04）に鎌倉の薬師ヶ谷に畠山重忠が創建したと伝わる医王山東光寺が、応仁年間（1467～1469）に釜利谷郷に移転したと伝えられる。東光寺は関東大震災で倒壊、現在地

に再建され、後に東光禅寺となった。

山道をさらに進むと道傍らの「やぐら」の中に石仏を中心に六地藏が並んでいる。詳しいことは不明だが、これが日月社。壁に「日月」「天保七年申」と彫られていると云うが判読できず。

さらに進み右側の急な石段を上がると、崖を掘りぬいた「やぐら」の中に古社が祀られてい

る。これが白山社で白山権現社とも呼ばれている。祭神は白山比咩神(シヤマヒメカミ・別名クシカミ)。この白山社が「白山道(シヤマドリ)」の名の由来だといわれている。

白山社にて解散し、もと来た道を引き返し
大方は白山道バス停から帰途についた
(横山美智男 記)

第9回 六浦から追浜へ浦賀道を辿る

開催日：令和3年1月7日(木)

参加人員：男性 17名 女性 6名 計 23名

コース：京急六浦駅(集合)～諏訪之橋～象塚跡～三艘橋～三艘町内会館・文殊菩薩(拝観)
～庚申塔～浅間神社～厄神様～傍示堂～雷神社～築島～陣屋跡～良心寺～首斬観音
～京急追浜駅(解散)

浦賀道は現在の大道小学校のあたりから浦賀方面へ行く古道である。京急六浦駅を出発し六浦道との分岐点である諏訪之橋から浦賀道を辿る。諏訪之橋近くの丘の上に六浦字川の鎮守の諏訪神社がある。

次の目的地へ行く途中の六浦白梅公園の角に、かつてこの地にあった幼稚園の二宮金次郎像をブラジルのサンパウロ神奈川県人会に寄贈し、その返礼のブラジル国花のイペの木がある。春に黄色の花を咲かせるらしい。

浅間神社近くに象ヶ谷と呼ばれる地がある。昔、船で運ばれてきた象が船上で死んでしまい、湊近くのこの地に埋められ象塚と呼ばれた。近くに象ヶ谷橋の名も残る。三艘橋のある三艘は、唐船が三艘寄港した事に由来する説や三度来航した事によるという説がある。

三艘町内会館には追浜の良心寺から遷された文殊菩薩がある。小田原北条氏の家臣朝倉能登守景高の持仏であった。かつて祀られていた文殊堂が京浜急行逗子線開通の為無くなり町内会館に安置され今も町の人により文殊講が行われている。



三艘町内会館・文殊菩薩

厄神様は現在は削った山の下に移されたが、1550年頃安房の里見軍が来襲した折、小田原北条氏に敗れて亡くなった武将達を近隣の人達が埋葬した。それ以来、村が疫病から免れるようになったので信仰されている。傍示堂は武蔵と相模の国の境にあった。現在は国道16号沿いに地藏像や石塔群と共に祀られている。

雷神社の祭神は火雷命(ホノカミ)。朝倉能登守が16世紀末にこの地に遷し、雷神社(イガツミヅヤ)と改める。地元では「カミナリ」神社と呼ばれている。境内には平成20年富岡から遷された横浜海軍航空隊の浜空神社がある。昔、離れ小島であった築島には1559年に

落雷で黒く焦げたビャクシンが残っている。小田原北条時代の領主朝倉氏の居所である浦郷陣屋跡には門のあった所に大門という地名が残っている。

良心寺は久遠山 大悲院。本尊は阿弥陀如来。元は曹洞宗であったが、朝倉能登守が夫人の菩提を弔う為に浄土宗に改めた。夫人の戒名「良心大姉」から寺名がつけられた。景高の墓はどこにあるか不明とのこと。



良心寺

罪人の首を切ったという言い伝えがある首斬観音は、大正末期の国道の工事で発見された頭蓋骨の供養碑として石塔が建てられた。碑文は船越に住んだ俳人「松竹庵梅月」の書。左右の碑には「南無阿弥陀仏」「南無妙法蓮華経」と刻まれている。

浦賀道には江戸時代の黒船騒ぎの時には早馬が往復する重要な道であった。かつて海だった所や山が連なっていた所など面影を残しつつ変貌していったが、今もその歴史を示す地名が残っていることにより昔に思いを馳せながら辿ることができた。

(熊谷滋子 記)

「寺社を巡る会」

会員募集



「寺社を巡る会」は毎月第一木曜日に近郊のお寺や神社の由緒や地域の歴史を学習しています。

令和三年度は金沢区内及び鎌倉を探訪予定です。有名な寺社はもちろん単独では行けないような寺社・史跡などもゆっくと廻ります。



六浦・上行寺東遺跡 復元模型



鎌倉・常楽寺 仏殿

興味のある方の会員募集をしております。会員又は下記までお気軽にお声を掛けて下さい。

金久保常二 090-3535-8639

kanakubo@chime.ocn.ne.jp

横山美智男 090-1840-0916

mmr_yokoyama@nifty.com

「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No.31

代表 柴崎 幸治

独自コース 86 番 「神奈川県コース 4 番 大楠山・佐島のみち」(通算 163 回)

11月例会は、「関東ふれあいの道 神奈川県コース」の「4番 大楠山・佐島のみち」を歩いた。前2回の例会で3コースとも主に磯・海辺を歩いたが、今回のコースは丘陵と一般道の歩道を歩くコースである。

朝9時にJR 逗子駅のバス乗り場に集合し、数人が集合したいバスに乗り込み、都合3便のバス便で起点である大楠芦名口バス停へ。そのバス停で参加者全員の到着を待ち、挨拶、準備体操後、スタートした。

登り道は舗装道路であり、登りにつれ舗装が荒れている箇所もかなりあった。お天気は気持ちのいい晴れで、いつもの山行とは違い、時間的余裕もあることから、ゆっくりゆっくりのペースで、道辺の花、実、樹を眺めながら蘊蓄を語りつつ、ディスタンスを取り歩いた。大楠山山頂に着いて、すぐに撮影ポイントでの写真撮影後は昼食と散策の時間となった。食事後は、展望塔に上ったり(一番上までは開放されていなかった)、遠望したりと楽しんだ。午後は大楠山を下り、すぐ近くの大楠レーダ雨量観測所の展望台に登り、景色(晴れてはいたが富士山は見えず)を楽しんだ。後は前田川方面へと紅葉を楽しみながら山路を下る。前田川の尾片瀬橋からお国橋までは前田川遊歩道を歩いた。国道に出て、立石公園まで、ひたすら。公園でコーヒータイム、散策。再び国道を長者ヶ崎まで、そこからは大浜海水浴場の砂浜を歩き、御用邸の裏の海岸へ、そして一色海岸を経てバス停まで歩き切った。そこからはバスでJR 逗子駅へ。

当日もコロナ禍のなか、当番はバスへの分乗等、コロナ対策に配慮、皆さんの協力を得て、無事終了した。

実施日：2020年11月19日(木) 天候：晴れ 歩行時間：約4時間 歩行距離 約11km

参加者：21名(男性15名 女性6名) コース所在地：神奈川県 横須賀市

交通：往路：京急 上大岡駅 8:20 発 ⇒ 金沢文庫駅 8:29 発 ⇒ 8:39 着 逗子・葉山駅 → JR 逗子駅

復路：京急 逗子・葉山駅 16:32 発 ⇒ 16:20 着 金沢文庫駅

コースと時間：逗子駅バス停 ⇒ 大楠芦名口バス停 9:35 全員集合 [準備体操] 9:50 発 ⇒ 11:15 大楠山山頂[昼食] 12:00 ⇒ 12:10 大楠レーダ雨量観測所展望台 12:40 ⇒ 13:20 尾片瀬橋(前田川遊歩道)お国橋 13:55 ⇒ 14:00 前田橋バス停 ⇒ 14:20 立石公園[コーヒータイム] 14:45 ⇒ 15:25 長者ヶ崎 15:30 ⇒ 13:15 (大浜海水浴場) ⇒ 15:40 御用邸裏海岸 15:50 ⇒ 一色海岸 ⇒ 16:00 一色海岸バス停 16:06 発 ⇒ 16:20 逗子・葉山駅[解散]

ご存じでしょうか！「大楠山」とは？

大楠山は三浦半島の最高峰の山で標高は241.3mの山である。読みは「おおぐすやま」と読み、所在地は横須賀市である。この山にはハイキングコースが5コースあり、今回登った大楠芦名コース(行程:約60分)、もっともポピュラーな前田橋コース(約70分)、歩きが長い塚山・阿部倉コース(約130分、約150分)、衣笠コース(約130分)、そして最も短い湘南国際村コース(約40分)である。山頂からは三浦半島はもちろん、伊豆半島、富士山、箱根の山々、大島、房総半島と大パノラマが広がっている。司馬遼太郎氏も実際に登り、「三浦半島記(街道をゆく42)」で、「その山頂からの眺望は、日本国のどの山よりもすぐれている」という、まさに展望の山である。皆さんも菜の花の頃、新緑の頃、また菖蒲園の近くを通るコースも有り、時季をみてもう一度訪ねてみてはいかがでしょうか。(参考：観光パンフレット、他)

久方の大楠山は冬ぬくし 一税



撮影 P.大楠山山頂の展望塔前で



前田川遊歩道で

独自コース 87 番 「神奈川県コース 5 番 稲村ヶ崎・磯づたいのみち」 ・

「神奈川県コース 6 番 湘南海岸・砂浜のみち」(通算 164 回)

12 月例会も「関東ふれあいの道 神奈川県コース」を歩いた。神奈川県コースを順番通りに歩くことにしているが、今回はもう 5 番と 6 番であり、「5 番 稲村ヶ崎・磯づたいのみち」、「6 番 湘南海岸・砂浜のみち」を続けて歩いた。この 2 つのみちを続けて歩くということは、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市の海岸サイドの 18.3km を連続して歩くことであり、かなり厳しいものであるが、ただ平たんな道のりだけが慰めである。

当日は朝からの曇天、6 番コースでの昼食後には小雨が降りだし、6 番の終点まで止んだり降ったり、ただ、然程の雨でなかったことに感謝。降雨確率 30%でのゴーサインは傘が必要であった。

5 番は、鎌倉駅に集合し、連絡区間である駅から若宮大路を海に向かい歩き、起点の由比ヶ浜に出て、そこで準備体操、挨拶を行う。そして国道 134 号沿いの歩道を、相模湾を左手に見つつ進む、やがて、稲村ヶ崎(撮影 P.)に着く、天気が良いれば、江ノ島の右手に富士山が見えるが、本日は無理。そこから 4km にわたる七里ヶ浜、小動(こるゆぎ)岬、腰越漁港、そして目の前に江ノ島が表れる。江ノ島交差点を通り、滑川に架かる弁天橋を渡り、終点の小田急片瀬江ノ島駅に着く。一応記念撮影。

6 番は、片瀬江ノ島駅が起点であり、5 番の流れで駅前を通過、国道の横断歩道を渡り、新江ノ島水族館、県立湘南海岸公園の海側を進むと、引地川の鵜沼橋の手前の聶耳(ニエアル)記念碑(撮影 P.)である。ここで昼食。昼食後は鵜沼橋を渡り、左に入りサイクリングロードをひたすら歩く。快晴であれば、箱根・丹沢や富士山が望めるはずであるが、本日は無理。左手には長い長い砂浜と相模湾、まさに湘南が続く。サーファーが大勢いる。徐々に江ノ島が遠ざかり、烏帽子岩が近づき、辻堂・菱沼・茅ヶ崎海岸、サザンビーチの C の形のモニュメントの前で烏帽子岩を中央に記念撮影、次は茅ヶ崎漁港、西浜、南湖、そしてサイクリングロード・6 番の終点、柳島海岸に無事到着。国道 134 号の横断陸橋を渡り、連絡区間約 0.6km を歩くと浜見平団地バス停に着く。ここのバス停で解散。バスに乗り JR 茅ヶ崎駅に向かう。

実施日：2020 年 12 月 2 日(水) 天候：曇りのち時々小雨 歩行時間：約 6.5 時間 歩行距離 約 17.7km

参加者：15 名(男性 12 名 女性 3 名) コース所在地：神奈川県 鎌倉市 藤沢市 茅ヶ崎市

交通：往路：金沢文庫駅 7:24 発⇒7:34 着 逗子・葉山駅(歩 9 分)JR 逗子駅 7:46 ⇒ 7:50 着 鎌倉駅

復路：JR 茅ヶ崎駅 14:44 発 ⇒ 15:01 着 戸塚駅(地下鉄) 戸塚駅 15:14 発 ⇒ 15:23 着 上大岡駅 京急 上大岡駅 15:23 発 ⇒ 15:42 着 金沢文庫駅

コースと時間：鎌倉駅 7:55 ⇒ 8:20 由比ヶ浜[準備体操] 8:35 発⇒ 9:00 稲村ヶ崎 9:10 ⇒ 10:10 小動岬 ⇒ 10:30 片瀬江ノ島駅 10:35 ⇒ 10:40 新江ノ島水族館 ⇒ 11:00 聶耳(ニエアル)記念碑[昼食]11:20 ⇒ 11:50 辻堂海浜公園 ⇒ 13:20 サザンビーチ ⇒ 13:30 茅ヶ崎漁港 ⇒ 13:45 柳島海岸 13:50 ⇒ 14:00 浜見平団地バス停[解散] 14:11 発(神奈中バス) ⇒ 14:30 JR 茅ヶ崎駅南口

ご存じでしょうか! 「聶耳(ニエアル)」とは?

まず、聶耳の文字をどう打つかというと「じょう」「じ(みみ)」と打つ。読みは「ニエアル」と読むらしい。どんな人かということ、中華民国雲南省昆明市生まれの中華民国の作曲家で、中華人民共和国の国歌「義勇軍進行曲」の作曲者。本人は中国共産党員であり、中国国民党に左翼文化人たちが次々拘束される中、1935 年(昭和 10 年)4 月に大日本帝国滞在中の兄を頼って来日する。「義勇軍進行曲」は日本在留中に最終的に書き上げた。しかし、聶耳は 1935 年 7 月に現藤沢市の鵜沼海岸で友人と遊泳中に行方不明になり、翌日、水死した遺体が見つかった。謀殺等の陰謀説も出たが、地元の人はずっとただの水死者と変わらなかったと証言している。昆明市と藤沢市は聶耳の生没地の縁で 1981 年に友好都市提携を結んでいる。(参考: Wikipedia、他)

小雨降る湘南の海十二月 一柧



稲村ヶ崎で



聶耳記念碑前で

「懐かしの映画を観る会」鑑賞録 NO.36

代表 鶴岡重典

上意討ち 拝領妻始末

観賞日 2020年10月12日 上映時間 128分

【概要】

制作 1967年
原作 滝口康彦
脚本 橋本忍
監督 小林正樹
音楽 武満徹
出演 三船敏郎（笹原伊三郎）、司葉子（笹原いち）
加藤剛（笹原与五郎）、仲代達矢（浅野帯刀）
大塚道子（笹原すが）、神山繁（高橋外記）



【あらすじ】

享保年間の会津松平藩。中流藩士の笹原家当主、伊三郎は剣の腕を見込まれて笹原家の養子となっていた。家族は妻すが、長男与五郎、次男文蔵の4人で自分の経験から長男の与五郎には幸せな結婚をさせてやりたいと願っていた。ある日、藩から藩主正容の側室、いちを拝領せよとの命令が下る。伊三郎は断ろうとするが、与五郎は承諾する。伊三郎の心配をよそに、いちはずっかり笹原家に溶け込み、与五郎と仲睦まじく暮らし、長女とみを設ける。ところが、世継ぎの突然の病死によりいちが生んだ菊千代が次期藩主に決まると、藩は今度は世継ぎの生

母が藩士の妻では具合が悪いとして、いちを返上せよと命じてくる。我慢を信条とする伊三郎であったが二度に及び理不尽な藩命に堪忍袋の緒が切れ、笹原親子は遂に上意を拒絶する決意をする。権力を振りかざしてくる藩庁と一族郎党を敵に回して孤軍奮闘する笹原親子。いちの自決。最後に向けられた難敵は藩で伊三郎と並ぶ剣客で盟友でもあった浅野帯刀であった。両雄の手に汗握る決闘の行方は・・・。

所属する組織の理不尽な命令に断固抵抗する主人公の姿に共感を覚える人も多いのでは。豪華スタッフとキャストが紡ぐ最高の時代劇

【解説】

■ポイント

●黒澤明が撮らない黒澤映画

橋本忍（脚本）、武満徹（音楽）、三船敏郎、仲代達矢（俳優）等黒澤組の常連が制作。現代の企業社会に生きるサラリーマンにとって社命と自分の意志との相克は共通の悩み。この作品はその点を明確に描き出しており、主人公の信念を貫いた行動と結果としての滅亡に涙を禁じ得ないサラリーマンOBも多いはず。上意討ちとは主君の命を受けて、罪人を討つこと。

■見どころ

●上質な時代劇に特有の凛とした美しさ。モノクロ映像の素晴らしさ

●最後の決闘シーン

三船敏郎演じる伊三郎と仲代達矢演じる帯刀の決闘シーンは黒澤映画を彷彿させる。なお、同一スタッフ（原作：滝口直彦、監督：小林正樹、脚本：橋本忍、音楽：武満徹）による、「切腹」（1962年）もお薦め。

ガス燈 (Gaslight)

観賞日 2020年10月26日 上映時間 114分

【概要】

制作 1944年 アメリカ
原作 パトリック・ハミルトン
監督 ジョージ・キューカー
出演 イングリッド・バーグマン (ポーラ・アルキスト・アントン)
シャルル・ボワイエ (グレゴリー・アントン)
ジョゼフ・コットン (ブライアン・キャメロン)
アンジェラ・ランズベリー (ナンシー・オリヴァー)



【あらすじ】

1885年。歌手を目指すポーラは音楽家のグレゴリー・アントンに恋をし、彼の求めに応じて結婚する。新居はロンドンの高級住宅街ソーントン広場にある。ポーラは早くに両親を亡くし叔母のアリス・アルキストに育てられた。叔母は人気の美人歌手でポーラも叔母にそっくりの美人。その叔母の遺産が新居である。しかし、そこは10年前に叔母が何者かに殺害されたつらい思い出のある場所。新居に越してから奇妙な出来事が次々に起きる。大事なブローチの紛失、部屋にあった絵画の消失。精神的に追い詰められて幻覚におびえるポーラ。スコットランドヤードのブライアン・キャメロンはアリスの熱烈なファンで10年

前の未解決事件に興味を抱く。グレゴリーに冷たくされてますます落ち込むポーラ。ポーラは久しぶりに外出した音楽会でまたしても取り乱してしまう。音楽会に出席してその様子を見ていたブライアンは疑惑を一層深める。ある晩、グレゴリーの外出中を狙ってブライアンはポーラを訪ねる。その晩、グレゴリーが屋根裏部屋で発見したものは。ブライアンがポーラに語った事実は。グレゴリーがポーラに近づいた真の理由は。

霧の街ロンドンを舞台に名匠ジョージ・キューカーが紡ぐサイコサスペンスの傑作。

【解説】

■ポイント

- イングリッド・バーグマン (1915年～1982年)
 - ・スウェーデン時代 (1915年～1938年)
スウェーデン映画、ドイツ映画に出演
 - ・ハリウッド時代 (1939年～1949年)
ハリウッドの大物プロデューサー、セルズニックの招きで渡米
本作を含む、バーグマンの代表作のほとんどはこの時期のもの
 - ・ロッセリーニとのイタリア時代 (1949年～1956年)
イタリアの映画監督、R・ロッセリーニと映画出演を機に不倫関係に発展 (後に結婚)
大スキャンダルとなりアメリカを追われる。
 - ・ハリウッドに復帰 (1956年～1982年)
「追想」(1956年)でアカデミー主演女優賞を受賞、ハリウッドに復帰
- 受賞 (第17回アカデミー賞)
7部門でノミネート、2部門で受賞
主演女優賞 (イングリッド・バーグマン)、美術監督賞 (セドリック・ギボンズ)



■見どころ

- キャリアの絶頂期を迎えるバーグマンの演技
愛する夫に利用され精神的に追い詰められていく妻を熱演
- モノクロで撮る霧のロンドンの夜

ミリオンダラー・ベイビー (Million Dollar Baby)

観賞日 2020年11月9日 上映時間 133分

【概要】

制作 2004年 アメリカ
脚本 ポール・ハギス
監督 クリント・イーストウッド
撮影 トム・スターン
出演 クリント・イーストウッド (フランキー・ダン)
ヒラリー・スワンク (マギー・フィッツジェラルド)
モーガン・フリーマン (エディ・“スクラップ・アイアン” デュプリス)
ルシア・ライカ (ピリー)



【あらすじ】

フランキーのもとにマギーと名乗る女性が現われ弟子入りを懇願する。フランキーは止血でならした男で今はたった一人の係累である娘のケイティとも疎遠の独居老人。31歳のマギーは貧しさから抜け出すためボクサーを志す。最初、フランキーは女性お断りとしていたが、マギーの境遇を知り、その熱意と才能にほれ込み考えを変える。フランキーの直接指導を受けマギーはめきめき腕をあげる。デビューして4回戦、6回戦を初回KOの連続で飾る。二人と親しいスクラップはマギーにウィリーのようになり

たければマネジャーを変えるよう忠告するがマギーは恩人のフランキーのもとを離れない。モクシュラのガウンを着てヨーロッパを転戦したマギーはやがて世界チャンピオンへの挑戦権をつかむ。相手はダーチャー・ファイターのブルー・ベアことピリー。孤独な老人と家族崩壊の女との師弟愛。同じ夢に向かって突き進む二人に突然襲いかかる悲劇。人生に絶望したマギーがフランキーに頼んだことは・・・。

各種の映画賞を受賞しながらも賛否両論に揺れた話題作。

【解説】

■ポイント

●映画の構成

主人公のフランキーとマギーに起きた出来事を、二人の友人であるスクラップがフランキーの娘ケイティに語りかけるという構成をとっている。

●実の親娘以上の親娘愛

フランキーの娘ケイティとマギーの父親は話には出るが画面には登場しない。登場するのはフランキーとマギーのみ。愛を知らない者同士の疑似親子愛。

●モクシュラ

ゲール語(アイルランドの古語)で「君は私のすべて」。本作のキーワード。

●受賞(第77回アカデミー賞)

7部門にノミネートされ4部門で受賞

作品賞、監督賞、主演女優賞(ヒラリー・スワンク)、助演男優賞(モーガン・フリーマン)

■見どころ

●切なく重苦しいラストシーン

悩んだ末に断腸の思いでとったフランキーの行動とその後のフランキーの行方は？

わたしは、ダニエル・ブレイク (I, Daniel Blake)

観賞日 2020年11月23日 上映時間 100分

【概要】

制作 2016年 イギリス、フランス、ベルギー
監督 ケン・ローチ
音楽 ジョージ・フェントン
撮影 ロビー・ライアン
出演 デイヴ・ジョーンズ (ダニエル・ブレイク)
ハイリー・スクワイアーズ (ケイティ・モーガン)
ブリアナ・シャン (デージー)、ディラン・フィリップ・マキアナン (ディラン)



【あらすじ】

イギリス中部の町、ニューカッスル。この町に住むダニエル・ブレイクは59歳の大工。彼は長年妻の看病に明け暮れていたが、その妻を失い現在は一人暮らしをしている。彼は仕事中に心臓発作を起こし、仕事に関しドクターストップをかけられる。そこで、やむなく福祉事務所に支援手当を申請するが、結果は受給不可。ある日、福祉事務所で係員と口論しているシングル・マザーのケイティを見かける。ダニエルはケイティと彼女の二人の子供を家まで送り一家と親しくなる。パソコンを使えないダニエルは申請をするだけで一

苦勞、申請しても却下され埒があかない。怒ったダニエルは事務所の外壁に塗料で「私はダニエル・ブレイク・・・」と大書き、日頃のうっ憤を晴らし通行人の喝さいを浴びるがその場で逮捕される。不服申し立てをしたダニエルは久々の緊張感から心臓発作を起こし帰らぬ人に。葬儀の場でダニエルに代わりケイティが語ったことは・・・。
社会的弱者の観点から名作を撮り続けたケン・ローチ渾身の集大成作品。

【解説】

■ポイント

●ケン・ローチ

- ・1936年、イギリス生まれの映画監督、脚本家。オックスフォード大卒。1967年「夜空に星のあるように」で監督デビュー。
- ・「麦の穂を揺らす風」(2006年)で第59回カンヌ国際映画祭パルム・ドールを受賞。
- 2014年、第64回ベルリン国際映画祭金熊名誉賞を受賞。
- 2016年、本作で2度目のカンヌ国際映画祭パルム・ドールを受賞。
- 弱者の眼差しで50年以上映画を作り続けている。

●受賞(第69回カンヌ国際映画祭)

パルム・ドール受賞

■見どころ

●福祉国家イギリスの実態

「ゆりかごから墓場まで」と謳われたイギリスの福祉制度の実態。
「仏作って魂入れず」の見本。利用者は二次のお役所仕事。

●ダニエル・ブレイクを殺したのは誰だったのか?



泥の河 (Muddy River)

観賞日 2020年12月7日 上映時間 105分

【概要】

制作 1981年
原作 宮本輝
脚本 重森幸子
監督 小栗康平
撮影 安藤庄平
出演 田村高廣（板倉晋平）、藤田弓子（板倉貞子）
加賀まりこ（松本竹子）朝原靖貴（板倉信雄）



【あらすじ】

昭和31年、大阪。うどん屋を営む板倉夫妻。一人息子で、小学3年生の信雄は同い年の少年松本喜一（きっちゃん）と親しくなる。喜一には11歳の姉銀子がいた。姉弟は水上生活者で通学はしていない。母親が舟の上で客をとって生計を立てている。姉弟と仲良くなった信雄は二人を家に招き歓待する。喜一は皆の前で軍歌を歌い、信雄の父、晋平は得意の手品を披露する。天神様の縁日。信雄と喜一は晋平から小遣いをもらい勇ん

で出かけるが、途中で喜一が小遣いを落としてしまう。仕方なく舟に戻った二人であったが、信雄はそこで見てはならないものを見てしまった。やがて、松本一家が生活する舟が突然移動を始める。それに気づいた信雄は舟を追いかけるが・・・。

宮本輝の同名小説を監督デビューの小栗康平が映画化。小学3年男子のひと夏の経験。

【解説】

■ポイント

●1956年当時の日本

戦後10年が経過、朝鮮戦争の特需もあり経済白書は「もはや戦後ではない」と宣言。しかし、戦争の傷跡はまだ残り、庶民の生活は苦しかった。

当時を象徴するもの：栃若の相撲、ランニング姿の少年、ラムネ

●原作者・宮本輝（1947年～）

・神戸市出身の小説家。1970年、追手門学院大学卒業。広告代理店勤務を経て文筆生活に入る。デビュー作の本作で太宰治賞を受賞。翌年の「螢川」で芥川賞を受賞し、作家としての地位を築く。他に「道頓堀川」（1981年）、「優駿」（1986年）等。作品の殆どが映画化、ドラマ化されている。



●加賀まりこ（1943年～）

・東京神田出身。1964年の「乾いた花」「月曜日のユカ」等での小悪魔的ルックスで「和製ブリジット・バルドー」と呼ばれる。

・劇団四季の「オンディーヌ」で主役を演じ、本作でキネマ旬報助演女優賞を受賞。



●受賞

第5回日本アカデミー賞：最優秀監督賞

第55回キネマ旬報日本映画ベスト10：1位

■見どころ

●子役三人の演技

田村高廣、藤田弓子、加賀まりこ等大人の演技も良いが子役3人が素晴らしい。

●戦闘シーンのない反戦映画

逃亡者 (The Fugitive)

観賞日 2020年12月14日 上映時間 130分

【概要】

制作 1993年 アメリカ
監督 アンドリュー・デイヴィス
音楽 ジェームズ・ニュートン・ハワード
撮影 マイケル・チャップマン
出演 ハリソン・フォード (リチャード・キンブル)
トミー・リー・ジョーンズ (サム・ジェラード)



【あらすじ】

無実の妻殺して思いがけなく死刑判決を受けた、シカゴ小児記念病院外科医のリチャード・キンブル。刑務所への移送中の交通事故で凶らずも脱走して逃亡者に。追うは名うての連邦保安局捜査官サム・ジェラード。必死の逃亡を続けるキンブルと強力なリーダーシップでキンブルを追い詰めるジェラード。逃亡する中で次第に明らかになる殺人事件の真相。犯人と思われ

る片腕の男を探し出すキンブル。今一步のところでキンブルを取り逃がすジェラード。事件の背後に見えてくる新薬開発者と製薬会社の黒い影。キンブルが探し出した事件の黒幕とは……。大都会シカゴを舞台に、追う者と追われる者の手に汗握るサスペンスドラマ。ハラハラドキドキの2時間強。とにかく面白い。

【解説】

■ポイント

●テレビ版逃亡者のリメイク作品

1963年~67年に放送 (主役：デヴィッド・ジャンセン)

当時のアメリカの最高視聴率を記録し日本でも大ヒット。本作はテレビ版のリメイク。

2020年12月にテレビ朝日開局60周年記念番組で、舞台を日本に移した「逃亡者」が放送される (主演：渡辺謙、豊川悦司)。

●連邦警察 (FBI) と地元警察との対立

アメリカ映画によくみられる連邦警察と地元警察との対立。(基本的には州をまたぐ事件、重要事件はFBIの管轄)

日本でも本庁と所轄の縄張り争いは刑事ドラマの定番。

■見どころ

●逃亡劇

息もつかせぬスリリングなストーリー展開。

超人キンブル：強い、賢い、捕まらない。

●トミー・リー・ジョーンズ

ジェラードは卓越したリーダーシップと的確な判断力の持ち主：頼れるボスのイメージ
缶コーヒーのCMにも起用される

本作では主役をくってアカデミー賞助演男優賞を受賞

ハーバード大卒の遅咲きの花

<令和2年10月25日（ののはな館）第21回金沢区民俳句大会吟行会は中止>

世界的なコロナウイルス拡大のため俳句の会議室使用が困難になった。11月25日現座、世界の新型コロナウイルスの感染者は6000万人を超え、死者も142万人となっている。特に世界的な感染者は2週間足らずで1千万人とハイペースな増加が目立つ。これらを総合し、インドにおける増加とヨーロッパで最近変異種がイギリス及び南アフリカで発生し、問題となっている。このような中、不特定多数が利用する俳句の会議室の確保が困難になったものである。

「浮雲俳句会」

抄録 NO.51

代表 北野 清市

141回例会 令和2年11月29日

〔秀作〕

天賞

左見右見鷹の渡りを待つカメラ とも女

鷹の渡りの瞬間を待つ状況の秀作。鷹の飛びコースは例年おおむね一定。コースを鷹が群をつくって飛び。その瞬間をとらえるためにカメラマンが左を見たり右を見ながら待っているのだ。鷹はワシタカ科の総称で普通クマタカ、ハヤブサなど中型のものが多い。

地賞

波止場にも河豚のモバイル下関 あきえ

河豚の波止場に並べられた様子を現代的にアレンジした秀吟。河豚は体は丸みがちでうろこがなく、空気を吸って腹をふくらます特性がある。肉は食用にするが卵巣に激しい毒があるものがある。マフグ・トラフグ・アカメフグであろう。河豚は食いたし命は惜しいというように、おいしいフグ料理は食べたいが中毒の危険があるので食べるのをためらうのである。

人賞

冬麗や白亜の天守姫路城 二 祥

冬天にうららかに聳える姫路城をわかり易く表現した佳吟。姫路城は、1601年、関ヶ原の合戦（1600年）直後池田輝政等が建てた名城。美しさと強さを兼ね備えた完成度の高い五層6階の大天守閣と三つの小天守閣を持つ連立天守群（国宝）。また平成20年には世界文化遺産に指定されている。

特選

冬鷺の狙ひ一閃波の跡 和 女

四季折々の風景に触れながら、近くを歩く日々。途中立ち寄る池があります。鳥の声の木々の間に響き、水鳥たちが集まっている。鷺らしき姿も枝の間に見え隠れする。巣を作っているらしい。住宅地のすぐ隣にも自然の宝庫があり、小さな変化を見つける喜びがあります。

気儘勝手然れどここよと炬燵猫 祥代

我が家には可愛い捨て猫のミーが22年間いました。子猫の頃は子猫らしい可愛さで私をニッコリさせてくれました。大人になっても心を和ませ癒してくれました。本当に気儘勝手ながらニャーという声を聴くと頬が緩んでしまいました。そんな我が家の猫を思い出しつつ詠んだ句です。

初曾孫の写真観るにもついマスク 一馬

近頃は買い物に行くにも医者に行くにも必ずマスクというのがくせになってきました。家にいても訪問のブザーが鳴ると慌ててマスク。この秋、ひ孫が生まれまして、彼の写真が毎日のようにパソコンで送られて来ます。その映像を見るときも気が付くとマスクをしています。早くコロナ禍が収まり感染の危惧から解放されたいものです。

手習ひの三味線連夜返り花 春駒

以前から三味線が弾けるようになりたいと思っていました。コロナ禍で家にいることが多くなりましたので、思い切って体験教室に参加高校生の時にフォークソングに染まり、ギターはいつのまにか何曲も弾き語れるほどの腕前だったことがそもそも勘違いの始まりです。年齢も楽器の種類も違うというのに三味線をつま弾き始めてみましたが、当然周囲には騒音雑音以外の何ものでもありません。連日の近所迷惑になってもと、ある日散歩に出かけると近所の方が「季節外れの 花が咲いていた」と話されました。私のつたない三味線の音に花もびっくりしたのだと苦笑いの句です。

熊の出る一丁目一番地に来 勇平

近頃、日本各地にクマの出没が相次いでいる。しかも住宅街はおろか市街地まで現れ、石川県下ではショッピングセンターの中に立てこもり、店を臨時休業する出来事があった。「一丁目一番地」は街中を象徴する場所として表現した。「熊出る」は冬の季語。冬眠前にエサを求めて来る人を怖がらない新世代のクマさんよ、どうか人さまには歯向かわないようお願いしたい。

142 回例会 令和2年12月20日

12月例会は北野代表がお休みになったため、「天・地・人と特選」は参加者全員の選句により、高点句順にすることになりました。よって各賞と特選句の論評はそれぞれの句の作者による自評です。(勇平)

[秀作]

天賞

天狼に吸ひ寄せられし機影かな あきえ

私は時折、早朝や夜の空を見ます。日の出の耀き、月の姿、星の光に見入ることがあります。ある晴れた冬の夜、一段と明るく輝く星をみていると、東の方から赤い灯を点滅させながら一機飛んできました。その飛行機は、まるで星に魅せられたようにゆっくりと近付き、やがて姿を消しました。

地賞

方丈や一輪挿しの冬至梅

二 祥

京都・紫野の大徳寺と云えば、臨済宗の大徳寺派の本山である。また千利休の帰依を受け、茶の湯との関わりが深い。今回は数ある塔頭のなかで、茶室、庭が有名な「高桐院」の方丈での出来事をシンプルに作句しました。方丈とは一般に住持、長老の居室のことですが、拝観の折、方丈の一角に一輪の「冬至梅」が生けてあるのを見た。早咲きで一重の白い花は控えめだが、意外性があり、やけに存在感があった。時期に合った茶花では通常「冬椿」「寒椿」と思っていたので、冬至梅であったことが妙に心に残っている。

人賞

庭石に紅零す実千両

とも女

我が家は、庭が狭いので、樹木は少ないが、花や実のなる木が何本かある。春から夏にかけては、梅、山茶花、花梨、海棠、つつじ木瓜、石楠花等。秋は、石菫の花がはびこっている。しかし、冬は、満目蕭条の庭となるが、唯一千両が艶やかな紅い実をつけてくれる。別名草珊瑚とも言われているが、丁度、庭石の傍に植えてあり、庭石を引き立てているようだ。実は、年を越えても、落ちない。昔から、正月の生け花には、なくてはならない所以である。

特選

龍華寺や読経流れて冬牡丹

三 旦

龍華寺は花の寺でもあり特に牡丹が有名。牡丹は金沢区の「花」にも指定されており、盛りは5月と思いついていた。この古刹にガイドの下見に訪れた際、庭園に白い花が数輪咲いており、そこに住職の読経が聞こえてきた。それをそのまま詠んだものです。不勉強にも「冬牡丹」というものを初めて知りました。

鉢植の寒菊香る無人駅

十 九

駅員のいない無人駅の改札口の横に、誰が置いたか寒菊の植木鉢が二つ並んでいる。純白の花が咲き開き、芳香が風にのり流れ匂う。乗り降りの人影のまばらな無人駅の淋しさを、その香りが優しく包んでくれている。それは、その鉢植えを黙って置いてくれた人の心優しさなのでもあろうか。

埋火や北へと夜汽車遠ざかる

春 駒

農家だった母の実家には囲炉裏がありました。夜床に就く時は、囲炉裏の火に灰をかぶせて火の勢いを弱め、翌日の朝餉の支度 や火災などから家を守りました。火は完全に消えるわけではなく暗がりからは息をひそめるようにわずかに紅く埋もれています。子供だった私は皆寝静まった真夜中、重い布団の中から遠くで夜汽車が走り過ぎていくのを聞いていました。そんな遠い記憶のワンシーンですが鮮明に覚えている様子を詠んでみました。

湯たんぼの微温優しき朝寝かな

三 洋

北の国から次々と雪の便りが舞い込んでいる。今年の北国は豪雪らしい。冬到来である。冬至を過ぎ、老人には朝夜は冷え込みがめっきり厳しくなった。睡眠を摂るのにも体力が必要である。老化とともに湯たんぼを布団に潜らせるようになった。まだ朝暗いうちに目が覚める。もそもそしていると足下の湯たんぼの微温が「起きてどうする？」と囁く。「それもそうだ」と思い、二度寝モードに突入する。今日も好日だ。

パソコンを使いこなす会 実施報告【3】

2020年10月～12月

2020年度 第13回分科会

- 日時：2020年10月13日（火）9：30～12：00
- 場所：晴嵐かなざわ 第一・第二会議室
- 内容：Windows 講座 — スマホの写真をパソコンへ —
 1. Play Memories Home のインストール
 2. 端末の接続
 3. 画像をパソコンに取り込む
 4. 「ピクチャ」フォルダーの確認
 5. 写真の再生
 6. スライドショー再生
 7. 写真の編集
- 参加者：16名＋Z3名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2020年10月13日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

第14回分科会

- 日時：10月20日（火）9:30～12:00
- 場所：晴嵐かなざわ 第一・第二会議室
- 内容：Windows 講座 — 動画作成 —
 1. 「フォト」を開く
 2. 新しいビデオプロジェクト
 3. 画像を追加
 4. ストーリーボードに配置
 5. BGM を追加
 6. タイトルカードの追加
 7. 動画のエクスポート
- 参加者：15名＋Z5名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2020年10月20日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

第 15 回分科会

- 日時：11月17日（火）9：30～12：00
 - 場所：金沢地区センター 中会議室
 - 内容：Excel 講座 － 基本操作－
 - 1.リボンの基本操作
 - 2.リボンのカスタマイズ
 - 3.クイックアクセスツールバー
 - 4.操作を元に戻す・やり直す
 - 5.表示倍率の変更
 - 6.ブックを保存する
 - 7.ブックを閉じる
 - 8.ブックを開く
 - 9.操作に困ったときは？
 - 参加者：19名＋Z3名
 - テキスト：パソコンを使いこなす会_2020年11月17日_テキスト
-



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

第 16 回分科会

- 日時：11月24日（火）9：30～12：00
 - 場所：金沢地区センター 中会議室
 - 内容：Excel 講座 － 表作成の基本－
 - 1.データ入力の基本
 - 2.同じデータの入力
 - 3.連続データの入力
 - 4.データの修正
 - 5.セル範囲の選択
 - 6.データのコピー・移動
 - 7.合計・平均の計算
 - 8.罫線
 - 9.セル背景の色
 - 10.見出しの文字書式
 - 参加者：17名＋Z4名
 - テキスト：パソコンを使いこなす会_2020年11月24日_テキスト
-



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

第 17 回分科会

- 日時：12月8日（火）9：30～12：00
- 場所：金沢地区センター 中会議室
- 内容：Office 講座 － Input Method Editor －
 1. IME (Input Method Editor)
 2. IME の呼び出し
 3. タスクバーの文字入力アイコン
 4. IME 言語バーの表示/非表示
 5. ユーザー辞書に単語登録
 6. IME パッド付録：Windows10 バージョン確認
- 参加者：19名＋Z2名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2020年12月8日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

第 18 回分科会

- 日時：12月15日（火）9：30～12：00
- 場所：金沢地区センター 中会議室
- 内容：Windows 講座 － パソコンのスペック －
 1. OS、CPU、搭載メモリ容量の確認
 2. ドライブの容量
 3. グラフィックス
 4. システム情報
- 参加者：18名＋Z4名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2020年12月15日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

江戸時代の奥州街道といえば、道中奉行が管轄したのは白河関までであり、それより北の津軽半島先端の三厩宿^{みんまや}までは勘定奉行が管轄していた。

ということは、奥州の玄関口は白河関（逆にいえば白河関までは関東である）と以前から認識されていたのだが、ともあれ、今回の奥州街道の旅は仙台までとし、仙台以北は他日を期すことにした。江戸時代の元禄期に奥州を旅した松尾芭蕉は仙台から一旦街道をはずれ、多賀城跡→塩竈→松島まで来ているので、同じく松島までを今回の目標として、2008年10月「宇都宮宿」をスタートし白河宿方面へ向かった。

なお奥州街道の起点も日本橋だが、宇都宮宿までは日光街道と重複するため今回途中を省略した。

さて宇都宮から11km歩いて最初の「白沢宿」^{しろさわ}まで来ると、豊富な水が道路脇の溝を洗い、水の豊かなところとの印象を持ったが、本陣前の説明板を読むと、関ヶ原の戦い直前の上杉景勝攻めで徳川軍が鬼怒川を渡る時、その案内役を買って出た庄屋の「宇加地家」の功績により戦後宿場とすることが許され、以後明治18年の国道4号開通まで大いに繁栄したという。

すぐ鬼怒川を渡ると阿久津河岸で、江戸時代に奥州からの米の集散地として賑わった。

やがて左側に「勝山城址」の看板が現れた。興味をおぼえて立寄ったところ、意外と広い城跡で鬼怒川の断崖に位置し、そこからの広々とした鬼怒川と背景の日光連山や男体山の雄大な眺望に驚き、暫し英気を養った。案内板には“城は南北420m、鬼怒川段丘面を天然の要害とし、鎌倉末期に氏家氏が築き、中世には下野国における宇都宮氏一族の北方防衛の拠点であったが、慶長2年（1597）豊臣秀吉の命により改易となり廃城となった”とあった。



白沢宿付近の勝山城址と鬼怒川

しばらく293号線の田園地帯を歩き、いくつもの街道が集まる要衝だった「氏家宿」^{きずれ}を過ぎると、8km先に、温泉が開発され“湯の里”として人気が出てきた「喜連川宿」^{がわ}に到着した。旧街道中に温泉があるとはありがたく、最近完成しよく整備された温泉ホテルに泊った。

喜連川宿の入口と出口に夫々古い自然石の道標がある。南入口のものは“右江戸道 左下妻道”、北出口のものは“右奥州海道 左在郷道”と読める。

宿入口は両側が桜並木で、シーズンは花と温泉でさぞ賑やかになるのではと想像した。

もともとこの宿は、倉ヶ崎城の小さな城下町だったが、城跡は御丸山公園となり、丘の上にひと際目立つスカイタワーが聳え、エレベーターで昇れば、西北に那須連山

の茶臼岳や高原山の雄姿が臨まれる風光明媚なところである。

さて、翌日は佐久山—大田原—鍋掛—芦野—(福島県入り)—白坂—白河宿までの強行軍のため、まだ暗い早朝5時にスタート、黙々と11km歩き、^{ほうき}箒川を渡って「佐久山宿」を過ぎ、更に7km高原を歩いて「大田原宿」にたどり着いた。

この辺から幕末～明治の戊辰戦争の後半戦たる会津戦争の傷跡が散見され始める。

官軍側について大田原藩は会津軍の猛攻を受けて大田原城を焼失、今はわずかに土塁や空堀が残るのみ。その他当時を偲べるものは、文政2(1819)年に立てられた上町の金灯籠程度である。しかもこの宿は、明治19年(1886)開通の東北本線経路からはずれたために往年の賑わいをなくした。

さて先を急ぐ。左側に那須連峰を見ながら、12km先の「鍋掛宿」の一里塚を過ぎて那珂川を越えると、対岸すぐのところ「越堀宿」でその間わずか700m、ここはもう黒磯市だ。ひたすら72号線を進み、「寺子の一里塚」(那須町)から道の両側に原形をとどめる「夫婦石の一里塚」(特に右側のがよい)を通過して、ようやく下野国の最北端「芦野宿」に入った。ここは江戸時代の旗本で、三千石の芦野氏の陣屋があったところで、芦野氏は例の源平屋島合戦で名をはせた弓の名手・那須与一の子孫と伝えられている。

芦野宿を出ると旧道の294号線(旧陸羽街道)は徐々にゆるい登り勾配になり、間もなく下野国と福島県の県境の峠に至ると、いよいよ“奥州の入口だな”との一種の緊張感に襲われた。ここから北が陸奥(みちのく)であり、南が関東になる。

道標には「従是北白川領」とある。

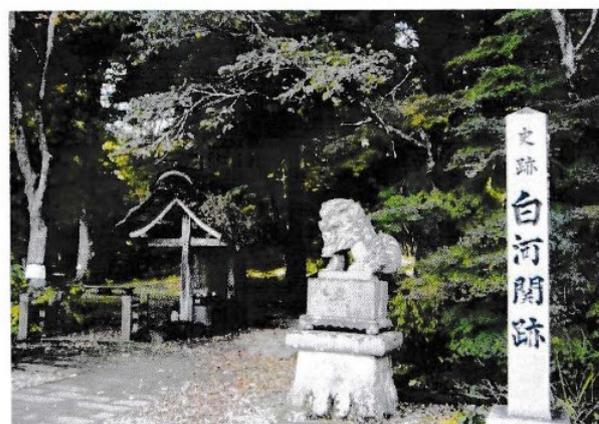
すぐ左の路傍には「境の明神」と呼ばれる古色蒼然たる雰囲気のある神社があり、狭い境内に入ると、名前は「玉津島神社」で、祭神の一柱に「衣通姫」と説明板にある。玉津島神社は和歌山県の和歌浦に祭られている神で、その祭神も衣通姫になっているが、どうしてここにも祀られているのだろうか。

この場所に白河の関があった、とする意見がある一方で、東に5km離れた旗宿の「白河神社」一帯こそが古くから奥羽三古関の一つとされ、能因法師をはじめ多くの歌人たちに歌われた「白河の関」跡だとする意見もあり、いずれとも決め難いようである。

白河の関が最初に文献に出てくるのは延暦19年(799)であるが、いつ関が出



白河関跡との説もある「境の明神」



松平定信によって指定された「白河の関」

来たかは依然としてわからず、関そのものも時代の経過と共にだんだんわからなくなっていったようだ。

上代・古代の陸奥は蝦夷（^{えみし}縄文人）地域であり、大和政権は陸奥の統治と蝦夷の南下を防ぐため要塞を設けたが、奈良朝～平安朝初期にかけ、平定地域が北上するにつれて、白河から仙台近郊の多賀城や更にその奥の胆沢城（^{いざわ}）へとその役割が移っていったから、遙か南の白河の関はとうの昔に廃止され、少数の関守が駐屯する単なる街道通過の関門にすぎなくなっていた筈である。

江戸時代後半の白河藩主だった「松平定信」が、旗宿にある「白河神社」の地を白河の関跡と断定し、昭和34年以来の発掘調査で、平安初期頃と推定される各種遺跡や遺物が多く出土したことから、ここが平安人あこがれの地であった可能性があるが、関が何度も移動したとみられることから、場所の特定は困難とされている。

「境の明神」と白河神社を含む旗宿一帯があわせて白河の関であると考えたらどうであろうか。

西行も義経も頼朝も芭蕉も、この294号線の旧道から横道にそれて旗宿を通ったと思われるが、秀吉や江戸時代の陸奥の殿様達は（参勤交代などで）この294号を往来したであろう。

境明神の境内に芭蕉の句碑があるが、彼は『奥の細道』に“心許なき日数重ねるままに白川の関にかかりて旅心定まりぬ、都へと便求めしもことはり也、”とだけ記し、曾良の句を載せるだけであるが、実際は白河の関の場所を特定できず、右往左往したようである。

松平定信が場所を特定したのは、芭蕉の生きた元禄期より約百年以上も後になってからである。

福島県に入り、直ぐ右折して細い山道を抜け、旗宿の古関「白河関跡」へやって来た。ゆるい起伏の森の入口に「式内白河神社」の石碑がある。

式内とは式内社のことで、西暦927年に編纂された「延喜式神名帳」に載っている神社のことだから、この時白河神社は既に存在していた。御手洗所を入った右手に、松平定信がここを白河関と指定した自筆の「古関蹟」碑が石垣の中にある。

左手のゆるい石階段を上ると、どこにでもありそうな社殿が鎮座し、その左側に平兼盛・能因法師・梶原景季の新しい和歌石碑があった。

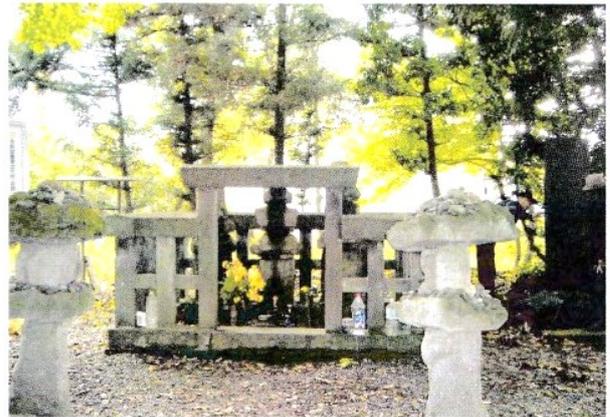
森中の右手は広いなだらかな平地と空堀になっていて、この一帯が関所跡などではないかとも推定されている。

森の右隣には「白河の関森公園」があり、奥に芭蕉と曾良の旅姿の銅像が立っていた。

今日は朝早くからの強行軍だったので、ここで切り上げ、明日は午前中「白河宿」を廻ることにして、ここで一旦打ち止めとすることにした。

翌朝もと来た294号線を「白坂宿」に差し掛かると、思いがけず「金売吉次の墓」の標識に出くわしたので、左折して300mばかり行くと、林の中に三つの墓があり、これが伝金売吉次三兄弟の墓であった。

吉次は義経の平泉往来の道案内をしたと記憶しているが、その墓がここにあるとは知らなかった。説明板によると、三兄弟は陸奥産出の砂金商売で京へ向う途中、ここで盗賊に遭遇して殺されたが、土地の人々は吉次達の墓と代々言い伝えてきたという。



白坂宿付近にある金売吉次の墓（中央）

徳川家康は、背後の仙台の伊達氏62万石や盛岡の南部氏20万石などの独立性の

高い藩の押さえとして会津に加藤嘉明、白河に丹羽長秀の息子長重を配置して基礎づくりをさせたが、寛永13（1636）年伊達政宗が、そして翌年長重が亡くなると、三代将軍家光は会津に弟の保科正之（会津藩藩祖）を、又白河に譜代の榊原氏を置いた。

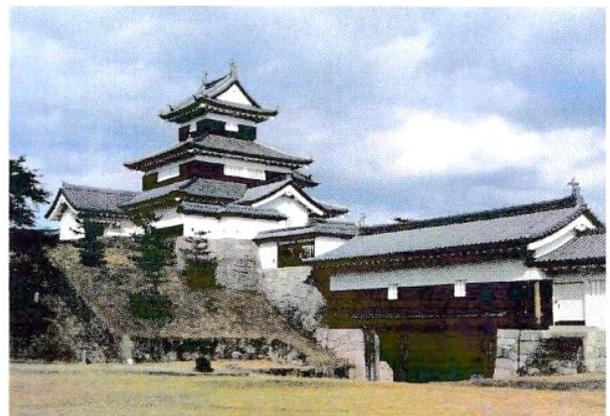
これは幕藩体制が固まり安定してきたことの証左であろうが、その後奥州は会津藩以外は停滞気味で、特に白河藩10万石は譜代や一門が次々に7家21代にわたり交代するという藩になってしまった。

ただ初期の丹羽長重と寛政期（1789～1800）の松平定信（吉宗の孫）は例外で、前者は奥州関門の名城と呼ばれた「白河城（小峰城）」の大改築を、後者は筆頭老中として「寛政の改革」を断行した。

定信は前述の通り、白河神社の地を古関「白河の関」と指定しただけでなく、享和元年（1801）には、庶民の憩いの場と付近の水利開発のために「南湖公園」を開き、現在でも白河市民から名君として慕われているという。

今日の市内の見どころといえば、この小峰城と南湖公園である。

小峰城は三重櫓の遠景が特にすばらしい。この城は幕末最後の藩主阿部氏が転封となった直後に幕府が倒れたために、城主不在のまま二本松藩預けとなり、戊辰戦争で落城したが、今日櫓は昔のままの工法で見事に再現されている。



白河宿 小峰城

もう一つの見どころ南湖公園は、定信が川を堰止め、中国洛陽の名園を模して造った日本初の自然公園で、中でも定信の雅号に因んだ「翠楽苑」は、カラマツを主景に紅葉が映えて大変美しく、多くの見物人で賑わっていた。

さて、ここから北が陸奥である。先人の如き気分でもここ白河から陸奥の旅を始めたい。

国道4号を約4kmで最初の「根田宿」、その入口左手高みに紀州「道成寺」に伝わ

る悲哀物語の「安珍」生誕の地碑があり、奥地500m行ったところに墓がある。

ここからの奥州街道は小宿が多く、白河～福島宿までに25宿もあったが、今は地名だけのものも多い。

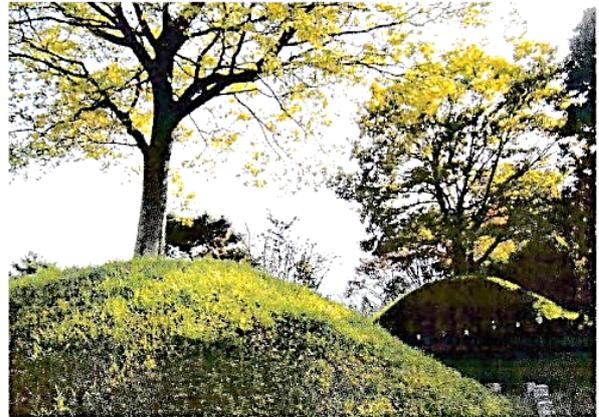
もともと白河～福島間は太平洋側の阿武隈山脈と県中央の奥羽山脈に挟まれた阿武隈川本流筋の縦長の低湿地帯と盆地で、ここに小さな宿がいくつも発達した。

次の「小田川宿」から「太田川宿」にかけての一带は、幕末戊辰戦争の激戦地として知られ、小田川宿の入口の小野薬師堂前に「戊辰戦死供養塔碑」がある。

国道4号を横切った「踏瀬宿」はずれの五本松という辺りまで来ると、左右に「踏瀬の五本松並木」に出くわした。説明板によれば、白河領だったこの街道沿いに藩主の松平定信が、日除け・風除けとして参勤交代や旅人のために松苗を植樹したのが始まり、というから比較的新しい。ここは盆地だから、風が強く蒸し暑かったのであろうか。200年経って松も大木になっていた。

短い間隔でいくつもの宿場が連なり、芭蕉が宿泊したという「矢吹宿」を過ぎて暫く行くと、4号線との分岐点に「須賀川の一里塚」があり、二つの塚が珍しく道の両側に当時のまま残り、国の史跡に指定されている。

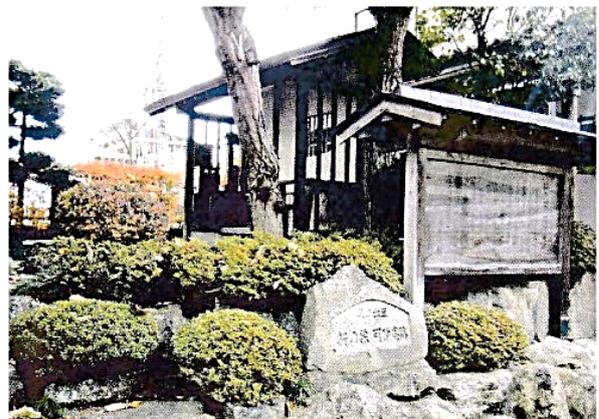
ここは日本橋から60里（240km）だが、車道で旧道が遮断されているため人通りはほとんど無くひっそりとしていて、雰囲気としてはこの方が一里塚にふさわしい。



須賀川宿入口に残る国史跡の一里塚

「須賀川宿」に入ると、ここはもう芭蕉一色である。市役所広場の入口に芭蕉記念館があり、すぐ近くに「軒の栗可伸庵」跡がある。

芭蕉は西方浄土と縁があるという栗（西の木と書く）の木陰の庵で暮らした僧侶可伸を奥ゆかしいとして、ここで一句“世の人の見付けぬ花や軒の栗”を残し、更に奥州第一の門弟から“白河の関いかに越える”と問われて、“長途の苦しみ身心疲れ、且つは風景に魂を奪われ、懐旧にはらわたを断ちて、はかばかしょうおもひめぐらさず”と言いつつも、“風流のはじめや奥の田植歌”と詠ん



芭蕉が立寄った須賀川宿の「軒の栗可伸庵」跡

で、歌の名所の奥州で蕉風を確立させたい意気込みを示した。（奥の細道より）

私は俳句は苦手なので、勝手な想像であるが、芭蕉は本当は白河の関でこの意気込みを見せたかったのではないか。白河の関の位置がはっきりわからなかったので、戸

惑ってそこでは句を残さなかったのかと思う。

間もなく7つもの小宿が続く郡山市に入るが、中心の「郡山宿」は都会化の中ではほとんど跡を残さない。郡山市通過にはかなりの時間を要したが、その間は専ら遙か西北の磐梯山・安達太良山や吾妻連峰の雄姿を眺望しつつ北上した。晩秋のこととて、どこも僅かながら雪をかぶっていた。

途中「本宮宿」を通る。蔵造りの商家が点々と残り、安達郡の総社から本宮宿の名がついた「安達太良神社」に参拝した。急な石段を登りつめると拜殿と本殿があったが、人一人もなくひっそりと静まりかえり、往年の旅人参拝で賑わったであろう遠い過去に思いを馳せるのみであった。

「二本松宿」に入り、すぐ左折して「大隣寺」（曹洞宗）へ。目当ては「二本松少年隊士の墓」で、境内左手にあった。説明板によると、幕末戊辰戦争の折、徳川幕府に味方した二本松藩（白河藩主丹羽長重の子光重がここ二本松に国替え）は、三春藩の突然の降伏で脇腹をつかれ、官軍の総攻撃を受けたため、主力部隊のほかに藩内の12～17才の少年隊を編成して、「大壇口の戦い」などで善戦したが敗れて多くが戦死した。



二本松宿 大隣寺内の二本松少年隊の墓

会津戦争での白虎隊の悲劇に隠れて目立たないが、白虎隊は城炎上を落城と誤解して、同志が刺し違えて自刃したのに対し、二本松少年隊24名は戦闘で死亡した。

どちらも成長期の純真な少年達であり、戦争の悲惨さに変わりはない。

墓地の中央には、大きな“戦死群霊塔”碑が石垣に囲まれ、戦死者名を刻んだ24の少年隊士の墓がその左右横一列に並び、花が添えられていた。

次いで「霞ヶ城（二本松城）」跡に来ると、ちょうど城跡内では日本最大級の第54回「菊人形展」を開催中だったので見て回ったが、大河ドラマ「篤姫」「独眼流政宗」「新撰組」や「二本松少年隊」の名場面の舞台装置が、等身大の登場人物衣装を含め、全て各種菊の花で飾られていて、正に菊づくめ、その規模の大きさと華麗さはすごいに尽きる。



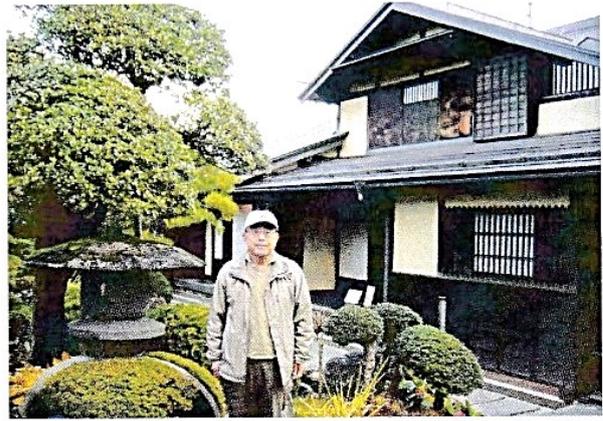
二本松城本丸跡と背後の安達多良山

それはともかく、城跡は現在県立公園になっていて、入口から石垣に囲まれた箕輪門の眺めが美しい。背後の山頂には本丸跡があり、ここからは360度の視界が開け、特に雪をかぶった吾妻連峰や安達太良山の眺望のすばらしさはたとえようもない。

山頂南側の展望台の近くには彫刻家・高村光太郎が妻智恵子を偲んで詠んだ詩“あれが阿多多羅山、あの光るのが阿武隈川”という「樹下の二人」(『智恵子抄』)の冒頭の句が刻まれた碑がある。

次の「油井町宿」に入ると、智恵子の生家・長沼家の「こめや」が今もそのまま残っていて、裏手には智恵子記念館があり一般に公開されていた。

彼女は生家の没落と肺結核によって心身を病み、53才で亡くなった。



高村光太郎の『智恵子抄』に出てくる妻・智恵子の生家

行事予定

2021年3月～2021年5月の予定

注：表中の「CC」は、「地区センター」の略

	3月	4月	5月
学習会	3月27日(土)市大カメラホール 13:30～16:30 ・米軍が選んだ日本の爆撃目標 ・防衛大学校名誉教授田中宏巳氏	予定なし	5月8日(土)市大金沢キャンパス 9:30～12:30 ・“わ”の会定期総会 ・120年前、横浜のペスト禍を未然に防いだ野口英世と長浜検疫所 講師：“わ”の会会員金間誠一氏
寺社を巡る会	3月4日(木)10:00 集合：京急金沢文庫駅 テーマ：釜利谷史跡散策Ⅱ 六国峠の道を歩く 訪問先：正法院、谷津浅間神社 能見堂跡ほか	4月1日(木)10:00 集合：京急富岡駅 テーマ：富岡の古道を歩いて 寺社巡り 訪問先：二松庵、持明院、宝珠院 慶柵寺ほか	5月6日(木)10:00 集合：未定 テーマ：未定
古文書を読む会	3月11日(木)13時～15時 場所：金沢公会堂第1会議室 テーマ：幕末志士の手紙⑥ 3月25日(木)10時～12時 場所：金沢公会堂第1会議室 テーマ：島原の乱③	4月8日(木)10時～12時 場所：未定 テーマ：幕末志士の手紙⑦ 3月25日(木)10時～12時 場所：未定 テーマ：島原の乱④	5月13日(木)10時～12時 場所：未定 テーマ：幕末志士の手紙⑧ 5月27日(木)10時～12時 場所：金沢公会堂第1会議室 テーマ：島原の乱⑤
ふれあいの道歩こう会	3月18日(木)予備日19日(金) 関東ふれあいの道 神奈川県コース 7番：大磯・高麗山のみち 神奈川県 平塚市 大磯町	4月15日(木)予備日16日(金) 関東ふれあいの道 神奈川県コース 8番：鷹取山・里のみち 神奈川県 大磯町 平塚市 秦野市	5月20日(木)予備日21日(金) 関東ふれあいの道 神奈川県コース 9番：弘法大師と桜のみち 神奈川県 秦野市 伊勢原市
懐かしの映画を観る会	3月8日(月)金沢CC 12:15～息子 3月22日(月)金沢CC 12:15～ショーシャンクの空に	4月12日(月)金沢CC 12:15～かくも長き不在 3月22日(月)金沢CC 12:15～バベットの晩餐会	5月10日(月)金沢CC 12:15～道 5月24日(月)金沢CC 12:15～幕末太陽伝
浮雲俳句会	3月28日(日)9:30～ 場所：能見台CC テーマ：小田原城	4月25日(日)9:30～ 場所：能見台CC テーマ：弘前城	5月30日(日)9:30～ 場所：能見台CC テーマ：熊本城
パソコンを使いこなす会	3月9日(火)未定 Excel講座 ー文字とセルの書式ー 3月16日(火)未定 Excel講座 ーセル・シート・ブックの操作ー 9:30～12:00	4月13日(火)未定 Windows講座 ーフォルダーのカスタマイズー ブラウザと検索サイト 4月20日(火)未定 Windows講座ー高速化ー 9:30～12:00	5月11日(火)未定 Word講座 ーWordを使いこなすー 5月18日(火)未定 Internet講座 ーOne Driveー 9:30～12:00

連絡先

- ・学習会 080-6755-1473(江口) ・古文書を読む会 784-4900(真田) ・浮雲俳句会 774-3878(北野)
- ・ふれあいの道歩こう会 790-0128(柴崎) ・懐かしの映画を観る会 080-5172-6151(鶴岡)
- ・寺社を巡る会 090-3535-8639(金久保) ・パソコンを使いこなす会 090-4056-2454(小俣)

編集後記 日本 1/395、神奈川県 1/253、横浜市 1/233。これは1月23日現在の「コロナ累計患者数/推計人口」の割合です。すなわち横浜市では、既に233人に1人がコロナに感染しています。1年前の今頃、ダイヤモンドプリンセス号の新型コロナ感染が報道されました。実は私も肺炎(肺炎球菌)で緊急入院直後でした。ベッドの上で自分もコロナかと不安を持ちながらも、ここまで感染拡大されていくとは思いませんでした。「寺社をめぐる会」の諸行事も中止を余儀なくされ、午前中だけの探訪を再開できたのは10月でした。制約下の探訪では、会のあり方にも難しいところがあります。ウィズコロナでモチベーションを保つのも大変です。先日、2回目の緊急事態宣言も出されましたが、収束の見通しはありません。ワクチンの普及を待つしかないのでしょうか。早く元のような活動が取り戻せることを願うばかりです。 (横山美智男 記)	発行日	2021年2月13日
	発行月	年4回発行(2、5、8、11月)
	発行者	金沢区生涯学習“わ”の会
	編集長	鶴岡 重典
	編集委員	田中 徳明 千々木 雅也 佐藤 和弘 横山 美智男 熊谷 信雄 橘 博章 斧原 良一 山腰 策次郎